

令和8年度第1回唐津市行政改革推進会議 会議概要

(令和8年7月9日開催)

1 議題と主な意見

(1) 令和7年度会議（3回実施）の結果について

(質問や意見なし)

(2) 第2次唐津市DX推進計画について

- 相手に思いを伝えるためには熱意を持って行動することが、人を動かすうえで大事であり、市役所の改革についても同様に、目的や必要性について、担当者が熱意を持って説明することで、市民の理解や賛同は得られやすくなる。
- DX推進や市民センターのあり方等を進めるにあたって、人と人との関わりを大切にすることを念頭に、担当課自身が熱量を持って取り組むことが重要である。

(3) 唐津市行財政改革プラン2025の進捗状況について

- 開庁時間短縮の検討については、他市では、開庁時間を少し短くしただけでも、職員のモチベーションや、やりがいにつながっていると聞いている。唐津市においてもこのような効果も踏まえて、検討されてはどうかと思う。
- 部を越えたタスクフォースの設置は、「緊急性の高い特定課題の解決」のために実施するとあるので、「なぜ当該課題を選んだのか」、「いつまでに実施するのか」、「タスクフォースを設置したことによる成果」などを本会議で示していただければと思う。
- 近年の情報発信はSNSが主流となってきたが、地域の高齢者にとっては紙媒体の回覧板が重要な情報源であり、効果があると感じることがあった。DX推進としてペーパーレス化していく必要性は理解するが、紙媒体を利用している世代の実情等にも十分に配慮する必要がある、こうした現状を踏まえ、DXを進めるにあたっては、市民に寄り添う姿勢も持ち続けてほしい。
- 市民センターのあり方方針に基づいて業務集約など取組みを進めていると思うが、成果として職員数だけでなく、コスト面や職員の満足度も調査され、その結果を示していただければと思う。また、最終目標を意識して取り組んでいただきたい。
- 市民センターから業務を集約される中で気になるのは市民センター職員のマインドの低下である。人員の削減は必要なことであるが、市民サービスを維持するうえでも、職員の意識を高めるような取組みが必要と思う。
- 市民センターにおかれては、住民からの信頼を得るため、地域の声を聞く体制を整えていただければと思う。
- 行政サービスの内容が本庁も市民センターも同じであれば、職員配置については、例えば、シフトを組んで、本庁付の職員が市民センターに週替わりで勤務することも検討されてはと思う。

(4) 公共施設の使用料について

- 公共施設の使用料については、他自治体を参考に時間帯で料金設定を変えてよいのではないかと考える。施設によっては、電気を使用されない午前中や昼間の時間帯は安くして、電気を使用される夜間の時間帯は高くするなど検討されてはどうか。そういった料金の設定については、利用者の理解は得られると思われる。

- 公共施設の使用料の改正とともに、公共施設の利活用の促進や公平な利用についてもあわせて検討すべきと考える。例えば、予約の「仮押さえ」を防止し、施設の公平な利用のため、使用料の前納の徹底やキャンセル料の考え方についても検討してみてはどうか。
- 観光施設などについて、国内、国外の観光地においては、一般料金と市民向けの料金を設定されていることが多い。唐津市もそのような設定を検討されてはどうか。
- 観光施設などについては、土日料金の設定を検討してみてはどうか。

(5) その他

会議資料について、一部、イメージ図が男性のみをイメージしてしまうものがあつた。資料の作成にあたっては、男女共同参画を意識して作成してほしい。

2 今後の対応

会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。